



ほけんだより 7月号

おひさま岡町保育園 2024.6.28.

暑い季節がやってきました。プール・シャワーが始まり、子どもたちの楽しい声が響き渡っています。水に触れることで皮膚を丈夫にし、心肺機能も高めます。また体を動かすことで気持ちも開放されます。プール遊びを通して、心も体も育つ夏です。

6月の感染状況

・突発性発疹 3名 ・ヘルパンギーナ 1名 ・ウイルス性胃腸炎 2名

熱中症にならないために・・・



これから暑い中での園外保育が増えてくる幼児クラス。まずは、あじさい組に熱中症の話をしました。

寝不足で朝ごはんを食べず 帽子も忘れた太郎さんと しっかり寝て朝ごはんも食べて 帽子を被っている次郎さん。なぜ、帽子を被らないといけないの？なぜ、水やお茶を飲まないといけないの？川遊びだったら、汗はかかないの？あれあれ？太郎さんと次郎さんの身体の中の水の量が・・・！？



外で遊ぶときに帽子を被る、水分を少しずつ頻回に摂る、日陰で休む、朝ごはんをしっかり食べる時にお茶を1杯飲む…なんでするんやろう？「熱くなるから～」 「しんどくなるから～」と答えてくれました。

「言われたからする」ではなく「なぜ、するか」を伝え、理解することが行動に繋がります。

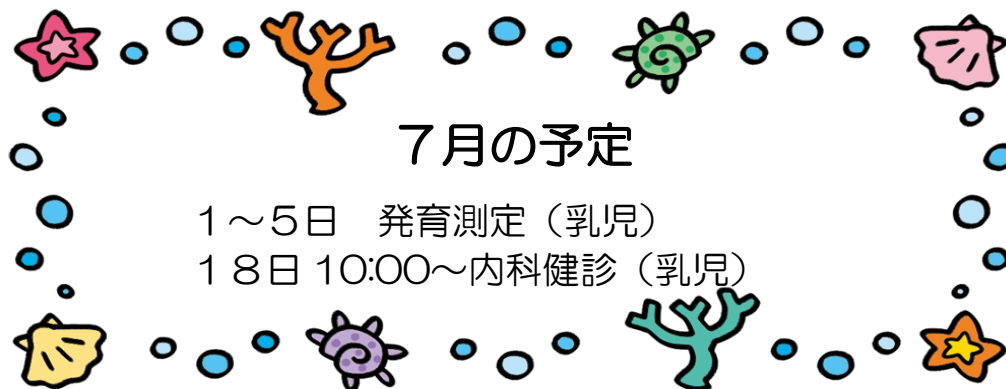
自分を守りながら着替えよう～水着編～



幼児は6月17日からプールが始まり、水着に着替える機会が多いです。そんな中で大切な自分の身体を守りつつ、意識しながら着替えられるように、水着へ着替える順番を伝えました。

なのはな組には、あじさい組でも使用した「おへそ」の紙芝居も使い、プライベートゾーンについてもお話ししました。

あじさい組はこどもの絵を用いて、水着に着替えるシュミレーションをしました。少し迷いながらしている子もいましたが、水着を足からゆっくり着替えさせたり、実際に着替えることをイメージしながら楽しんで、取り組んでいました。



7月の予定

1～5日 発育測定（乳児）
18日 10:00～内科健診（乳児）

夏に流行る感染症

ヘルパンギーナ

喉の痛みを伴い、39℃くらいの高熱が2～4日続きます。口の中の水疱や口内炎が特徴です。

【登園の目安】

医師において伝染の恐れがないと認められるまで。
(発熱しておらず、普段の食事ができること)



ウイルス感染によって起こる病気です。友だちへの感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けて下さい。

プール熱（咽頭結膜熱）

39℃以上の高熱、喉の痛み、リンパの腫れ、身体のだるさ、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出ます。

【登園の目安】

発熱、喉の痛み、目の充血やかゆみなどの主要症状がなくなってから、2日を経過していること。

流行性角結膜炎

目の充血や多くの目やに、涙に加え、リンパ節の腫れや痛みなどがあります。感染力が強いので、発症したら医師の診断を受けましょう。症状は1週間ほどがピークで完治には2～3週間かかります



【登園の目安】
医師において伝染の恐れがないと認めるまで。
※登園時に医師の意見書が必要です。

手足口病

手足や口の中に水疱や赤い発疹が出るのが特徴で、膝やお尻に出ることもあります。症状は3～5日でおさまりますが、その後2～4週間は便からウイルスが出るので、周囲の人は感染に注意しましょう。

【登園の目安】

発熱がなく、普段の食事が取れること。

